

札幌医科大学アイン・ニトリ緩和医療学推進講座
「がん相談サロン」2018年度実績

1. がん患者、家族同士の親睦・情報交換の場を提供（交流会の開催）

交流会名	参加対象者	開催のポイント	今年度の延べ参加人数
ウィッグ・ケア帽子とカバーメイク講座 (毎月1回・90分)	・外見ケアについて情報が必要としている患者または家族	・外見変化に伴う不安の軽減	35名
ヨガ教室と茶話会 (毎月1回・90分)	・がん治療中、治療後の患者	・インストラクター(院外に講師依頼)自身がサバイバー	72名
女性のがん交流会 (毎月1回・60分)	・婦人科系がん(子宮がん、卵巣がん等)、乳がんの患者	・当院がん患者の発案で実現したもの	52名

2. がんに関する情報発信（学習会の開催、がん情報に関するパンフレットの常設）

開催テーマ・開催日	講師	参加人数
正しく知って もっと身近に 緩和ケア (2018年6月21日)	札幌医科大学附属病院 麻酔科 岩崎 創史 先生 (緩和ケア管理室室長、当講座兼任講師)	11名
みんなで学ぼう！リンパ浮腫 (2019年3月12日)	札幌医科大学附属病院 緩和ケア管理室 佐藤 明美 副看護師長	13名

3. 地域との連携

一般社団法人「CAN net」からの依頼により、札幌医科大学附属病院にて、がん患者の外見ケアを支援するイベント「医療×美容クリスマスフェスタ」を開催した。(2018年12月22日) 昨年に引き続き寄附講座は共催としてイベントのサポートを行った。